

援に役立ててほしいと、和菓子製造販売の廣榮堂（岡山市中区藤原）は21日、国際医療ボランティア・AMDA（本部・同市北区伊福町）に100万円を贈った。

武田浩一社長（49）ら



3人が本部を訪問。「震災から2年たったが、復興を願う気持ちは薄れていないと伝えてほしい」と述べ、AMDAが大槌町で運営する健康サポートセンターのスタッフ大久保彩乃さん（23）に手渡した。売り上げの一部を充てたという。

大槌町出身の大久保さんによると、現地では学校の再建が滞り、子どもたちの多くが手狭な臨時校舎で学んでいる。支援金は子どもへの学習支援や心のケアに活用する。

大槌^(手)支援 100万円贈る

AMDAに廣榮堂

東日本大震災で被災した岩手県大槌町の支

大久保さん（右）に支援金を手渡す武田社長

（舟越俊司）